

白岩周辺の岩盤すべり

調査日：平成16年11月26日（金）

班：斜面災害総合調査サブWG [後藤]

分類別：被災状況

キーワード別：自然斜面

調査結果

岩盤すべりは比較的新鮮なシルト岩や砂岩が、流れ盤の層理面（走向 $N10^{\circ} E$ 、傾斜 $20\sim 22^{\circ} W$ ）上を滑動したものである（写真1）。すべり面になった層理面は、全面が酸化して黄褐色を呈し一部に黄褐色粘土薄層を挟在することから、微少な変位があったと思われ長期にわたって不安定化していたものと考えられる（上野将司 記述）。



写真1 岩盤すべり面（すべり面が酸化している）



写真2 別の岩盤すべり面